

「ゆたかさ」検討部会の提言骨子（素案）**【テーマ】**

- ① 第2期アクションプランの政策推進目標に掲げる「県民所得水準の国とのかい離の縮小」を進めるための方策
- ② 経済的指標だけでは表せない「ゆたかさ」をどうとらえ、共有し、拡大していくか

1 県民所得の状況

本県の県民所得の状況

2 人口減少社会において「ゆたかさ」を上げていくための方策

- (1) 県民所得水準の国とのかい離を縮小する
 - ① 就業率を高める（若者、女性、高齢者）
 - ② 付加価値を高める
 - ア 人間力を高める
 - イ ブランド力を高める
 - ウ 成長分野に取り組む
 - エ 地域資源を活かす
 - ③ 起業を促す
 - ④ 市場を拡大する
 - ⑤ 企業誘致のあり方を見直す
- (2) セーフティネットの充実を図る
 - ① 医療・福祉サービスの維持向上を図る
 - ② つながりを強くする
 - ③ 多くの主体が参加する
 - ④ まちをコンパクトにする
 - ⑤ 自給率の向上を図る
 - ⑥ 最低限の公共サービスの保障を考える
- (3) 多様な「ゆたかさ」を高め、将来世代に残す
 - ① 地域全体の魅力を高める
 - ② 精神的ゆたかさを評価する
 - ③ 知恵と技術を伝承する
 - ④ 自然環境を保全する

3 具体的な取組の提言**（参考資料）**

- ・検討部会の開催状況
- ・検討部会のメンバー
- ・県の取組等